

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 312 事業名 社会福祉施設維持管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童福祉総務費	
	大事業		児童福祉総務事業	
事項		社会福祉施設維持管理事業		
「3つのキーワード」との関連性				
いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず	
	○			

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
取組	3	子どもが健やかに育つことができる環境づくり

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
事業実施の根拠法令	児童福祉法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	こども総合支援センター	池永 多世(402-7830)
関連課		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	指定管理者制度により、児童福祉施設（旭学園・白百合園）の維持・管理につとめ、入所者・児童の生活環境を整える。	市立旭学園（児童養護施設）及び市立和歌山白百合園（母子生活支援施設）を維持管理する。 市立旭学園は社会福祉法人和歌山社会事業協会に、市立和歌山白百合園は公益社団法人和歌山県母子寡婦福祉連合会に、平成18年度より指定管理制度を導入している。 社会福祉施設維持管理事業については、施設の修繕及び保守点検等を実施する。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		旭学園・白百合園の指定管理による維持・管理の実施 各施設の修繕	旭学園・白百合園の指定管理による維持・管理の実施 各施設の修繕	旭学園・白百合園の指定管理による維持・管理の実施 各施設の修繕	旭学園・白百合園の指定管理による維持・管理の実施 各施設の修繕	旭学園・白百合園の指定管理による維持・管理の実施 各施設の修繕

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	4,726	5,787	3,752	2,603	959	671	594	573	330	
伸び率 (%)	-	-	-20.6%		-74.4%		-38.1%		-44.4%	
人件費	常勤職員	6,714	3,653	3,653	1,101	1,101	1,612	1,612	1,379	1,379
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,714	3,653	6,714	1,101	1,101	1,612	1,612	1,379	1,379
国庫支出金	15	14	624	606	14	14	14	22	14	
県支出金	0	1,103	0	205	0		0	210	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
一般財源（税等）	4,702	4,670	3,119	1,783	936	648	571	327	308	
所要人数	常勤職員	0.88	0.48	0.48	0.15	0.15	0.21	0.21	0.19	0.19
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主な予算内訳	旭学園等に関する所々修繕料（221千円） その他保険料等（109千円）									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	年度目標値	実績値	全体目標値	全体目標達成度					
修繕件数（旭学園）	年度目標値					1	1	1	
	実績値					1	1	1	
	年度別達成度					100.0%	100.0%	100.0%	
	全体目標達成度								
修繕件数（白百合園）	年度目標値						1	1	
	実績値				3	2	0	0	
	年度別達成度						0.0%	0.0%	
	全体目標達成度								
成果指標	年度目標値								
	実績値								
	年度別達成度								
	全体目標達成度								
単位	件	%							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	入所者の生活環境を整えるため必要な修繕を行っていく必要がある。
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「<u>現状維持</u>」以外の場合は記載</p>	